

政策調整会議の概要

開催日：H19.4.26

項 目

- 1 各部局の主要な取り組みについて
- 2 新たなプロジェクトチームについて【総務部】
- 3 報告事項【海洋部】

内 容

1 各部局の主要な取り組みについて

各部局から、19年4月の主要な取り組み、5月の主要な取り組み予定について報告を行い、情報の共有をはかった。

2 新たなプロジェクトチームについて【総務部】

総務部より、新たなプロジェクトチームについての説明を行った。

【概要説明】

- ・ 今年の組織改正の一環としてPT（プロジェクトチーム）を見直すこととした。すでに4月16日、23日の庁議で議論いただき、設置について概ね了解をいただいている。

【主な意見】

- ・ PTにネーミングライツといった名前を使う必要があるのか。命名権（愛称の付与権）といった日本語の方が分かりやすい。
検討させていただく。
- ・ コミュニケーションループとはどんなものか。
知事、副知事、部局連携官、管理者、リーダー、スタッフでぐるぐる回してコミュニケーションをとって
いこうとする考え。（相互連携）
- ・ 部局連携官の役割はどういったことか。
進行管理や部局間の調整等を行う。各部局へはそれぞれのスタッフが説明する必要がある。

3 報告事項【海洋部】

海洋部より、漁業信用基金協会に対する保証限度額算定のルール改正の内容と、予算の作成や執行に適正に反映していなかったことに鑑み、業務執行の改善策として次の4項目とする旨の説明を行った。

公務の重要性を再認識させるため、海洋部の全職員を対象とした研修会の実施
研修を受けての職場単位での話し合いの実施
原点に立ち返った業務執行の徹底
情報共有の強化

適正な事務処理は、県庁全体で取り組むべき事項であることから、次回の政策調整会議において総務部からも説明を行うこととする。